【山崎名誉主宰の俳句】

これから

山崎　聰

捕えたる蠅一匹のあと始末

さあこれからというときの朴の花

釣舟草神殿は近くにありて

人の世のおわりもすこし桐の花

村へ山へ街へ夏シャツ夏帽子

人生にもっとも遠く山の滝

ちちははの山川とおく彼岸花

海に流れて山上のひとつ星

出来ぬことといくつかふえて山の秋

草原をみんなであるく秋の暮